

業 務 委 託 設 計 書

令和 6 年度	業務名	市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修調査設計業務委託				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
業 務 期 間	契約日 から 令和7年3月14日 まで					
場 所	米子市 車尾六丁目、吉岡 地内					
業 務 概 要	協議資料作成 1 式 橋梁補修設計 1 式					

【共通】

業務名： 市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修調査設計業務委託

特記仕様書

第1(目的・主旨)

市道車尾日野橋熊党線日野橋について、橋りょうの補修にかかる調査設計を行うものである。また、今後の在り方を検討していく上で必要となる河川管理者との河川占用協議にかかる資料や検討委員会にて使用する資料等を作成する業務である。

第2(適用範囲)

本業務の履行に当たっては、「設計業務共通仕様書」、「橋梁補修工事「詳細調査設計業務」特記仕様書(案)」によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	2		1204 1206	調査業務内容 設計業務内容	1	・橋梁補修調査設計 一式
1	1		1106 1107	管理技術者 照査技術者及び照 査の実施	3	管理技術者及び照査技術者は次のいずれかの資格を有すること。 ①技術士:総合技術監理部門(選択科目:鋼構造及びコンクリート) ②技術士:建設部門(選択科目:鋼構造及びコンクリート) ③RCCM(専門技術部門:鋼構造及びコンクリート) ④コンクリート診断士
1	1		1112	資料の貸与及び返却	1	本業務において必要となる次の資料については、初回打ち合わせ時において、双方確認し貸与することとする。
1	1		1113	関係官公庁への手続き等	1	関係官公庁及びそれら以外の機関と協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告することとする。
1	1		1116	成果物の提出	1	成果物は下記のとおりとする。 ・報告書 1部 ・報告書(概要版) 1部 ・縮小図面製本(A3版) 1部 ・報告書一式の電子データ(CD) 2部
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、監督員と協議し、速やかに処理すること。
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について(平成29年1月31日付第201600158128号鳥取県土整備部長通知)」に基づき、受発注者双方でワンデーレスポンス、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること
追加				誤謬訂正		本業務に関する成果品の提出後であっても、成果品の内容に誤謬箇所がある場合には受託者の負担で、その誤謬箇所及びそれに関連した一切の箇所について訂正しなければならない。
追加				その他		一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して調査を行うこと。なお、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。
追加				その他		業務の進捗状況を把握するため、毎月履行報告書を提出すること。

【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1110	打合せ等	4	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切りにおいて行うこととし、7回を予定している。 ・当初・中間(5回)・成果納品前
1	2		1209	設計業務の条件	11	(コスト縮減) 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイクルコストを考慮し、総合的な評価により工法等検討すること。
追加				新技術活用の検討		補修設計において、新技術活用を含め比較検討を行うこと。
追加				埋設物・添架物等の調査		設計等業務を遂行する場合は、埋設物・添架物調査を行うこととする。また、その調査結果については、関係図面に記載すること。
追加				補修詳細設計(上下部工)		現地踏査にて漏水跡が確認された場合は、雨天時の調査を実施し漏水原因について調査すること。

位置図

グラウンド

新王子製紙社宅

国道9号

新日野橋

車尾6丁目

県道米子環状線

業務箇所
日野橋（車尾日野橋熊党線）

JR山陰本線



数量総括表

業務名：市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修調査設計業務委託

費目	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁補修調査設計					
協議資料作成					
日野橋の在り方検討委員会協議資料作成	回		5		
橋梁補修設計					
橋梁補修設計共通					
設計計画	橋		1		
既存資料収集整理	橋		1		
現地踏査	橋		1		
関係機関との協議資料作成	機関		1		
施工計画	橋		1		
補修設計					
補修工法検討	式		1		
設計計算	式		1		
設計図	式		1		
数量計算	式		1		
照査	式		1		
報告書作成	式		1		
再塗装設計					
補修工法検討	式		1		
設計計算	式		1		
設計図	式		1		
数量計算	式		1		
照査	式		1		
報告書作成	式		1		
橋梁撤去設計					
設計計画	式		1		
施工計画 (上部工撤去)	式		1		
施工計画 (下部工撤去)	式		1		
概算工事費算出	式		1		
照査	式		1		
報告書作成	式		1		

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00001-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.03.10(0) 5 委託:H23.10以降		
	当 世 代	前 世 代	
発注区分 業務区分 工事価格端数処理	41 一般(建設) 01 土木 00 千円止め		

* 設計業務委託費 *

内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
設計業務委託費									X3000	
協議資料作成									Y1999 (レベル1) E=(X3000設計) 概略・予備・詳細設計	
日野橋の在り方検討委員会協議資料作成									V1001 00	
	5			回					単第0 -0001 表	060310
橋梁補修設計									Y1999 (レベル1) E=(X3000設計) 概略・予備・詳細設計	
橋梁補修設計共通									Y2999 (レベル2)	
設計計画 橋梁補修設計									V2001 00	
	1			橋					単第0 -0002 表	060310
既存資料収集整理									V2002 00	
	1			橋					単第0 -0003 表	060310
現地踏査									V2003 00	
	1			橋					単第0 -0004 表	060310
関係機関との協議資料作成									V2004 00	
	1			機関					単第0 -0005 表	060310

* 設計業務委託費 *

内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
施工計画									V2005	00
	1			橋					単第0 -0006 表	060310
補修設計									Y2999	(レバ Ⅱ2)
補修工法検討 補修設計									V3001	00
	1			一式					単第0 -0007 表	060310
設計計算 補修設計									V3002	00
	1			一式					単第0 -0008 表	060310
設計図 補修設計									V3003	00
	1			一式					単第0 -0009 表	060310
数量計算 補修設計									V3004	00
	1			一式					単第0 -0010 表	060310
照査 補修設計									V3005	00
	1			一式					単第0 -0011 表	060310
報告書作成 補修設計									V3006	00
	1			一式					単第0 -0012 表	060310
再塗装設計									Y2999	(レバ Ⅱ2)

* 設計業務委託費 *

内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
補修工法検討 再塗装設計									V4001	00
	1			一	式				単第0 -0013 表	060310
設計計算 再塗装設計									V4002	00
	1			一	式				単第0 -0014 表	060310
設計図 再塗装設計									V4003	00
	1			一	式				単第0 -0015 表	060310
数量計算 再塗装設計									V4004	00
	1			一	式				単第0 -0016 表	060310
照査 再塗装設計									V4005	00
	1			一	式				単第0 -0017 表	060310
報告書作成 再塗装設計									V4006	00
	1			一	式				単第0 -0018 表	060310
橋梁撤去設計									Y1999	(レベル1)
									E=(X3000設計) 概略・予備・詳細設計	
設計計画 橋梁撤去設計									V5001	00
	1			一	式				単第0 -0019 表	060310
施工計画(上部工撤去)									V5002	00
	1			一	式				単第0 -0020 表	060310

* 設計業務委託費 *

内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
施工計画（下部工撤去）									V5003 00	
	1			一					単第0 -0021 表	060310
概算工事費算出									V5004 00	
	1			一					単第0 -0022 表	060310
照査 橋梁撤去設計									V5005 00	
	1			一					単第0 -0023 表	060310
報告書作成 橋梁撤去設計									V5006 00	
	1			一					単第0 -0024 表	060310
直接人件費										
旅費交通費									Z0045	
旅費交通費（設計） 調査・計画業務以外									STM03001X3 00 A=1	
	1			一					単第0 -0025 表	060310
電子成果品作成費・業務成果品費									Z0047	
電子成果品作成費（設計） 概略・予備・詳細設計									STM02018X3 00 A=5	
	1			一					単第0 -0026 表	060310

* 設計業務委託費 *

内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接経費						
直接原価						
その他原価						
業務原価						
一般管理費等						
業務価格						
消費税相当額						
業務費計						

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A) (内業)	1.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	3.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	5.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	3.00	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	回			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A) (内業)	0.50	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	2.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	1.00	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	機関			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (内業)	0.50	人			R0610
技師 (A) (内業)	2.50	人			R0620
技師 (B) (内業)	5.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	2.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	2.50	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	橋			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (内業)	0.50	人			R0610
技師 (A) (内業)	1.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	3.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	10.00	人			R0640
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A) (内業)	1.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	5.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	12.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	12.00	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A) (内業)	0.50	人			R0620
技師 (B) (内業)	4.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	10.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	10.00	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	一式			

照査
補修設計

V3005

施工単価表

単第0 -0011 表

頁0-0017

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (内業)	1.00	人			R0610
技師 (A) (内業)	2.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	2.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	5.00	人			R0640
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (内業)	0.50	人			R0610
技師 (A) (内業)	1.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.50	人			R0630
技師 (C) (内業)	1.50	人			R0640
*** 単位当り ***	1	一式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (内業)	1.50	人			R0610
技師 (A) (内業)	3.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	6.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	3.00	人			R0640
*** 単位当たり ***	1	一式			

業務内容について（参考）

① 日野橋の在り方検討委員会協議資料作成（5回開催／年）

既存塗装塗膜から低濃度 PCB が検出されたことにより、環境省が定める処分期限（令和 8 年度末）までに PCB 除去を伴う補修工事を実施する予定としている。

一方で、建設後 90 年以上が経過した日野橋の機能を国道 9 号新日野橋に集約し廃橋撤去するのか、文化財的価値（国登録有形文化財）と現在の機能を維持するために保存するのかを委員会にて議論する。

日野橋の在り方検討委員会のメンバーは、行政関係者、学識経験者、地元関係者、一般公募の 10 名とする。

② 橋梁補修設計

令和 3 年度の定期点検の結果をもとに、原因に対応した補修設計を実施する。

また、工事発注に必要な設計図面及び数量計算書の作成を行う。

1) 補修設計

鋼上部工（当て板補強、部材取替等） RC 下部工

2) 再塗装設計

鋼上部工（桁・トラス部）：塗り替え塗装

③ 橋梁撤去設計

今後の在り方を議論するうえで、撤去した場合の概算工事費の把握を目的とする。

また、概算工事費を算出するうえで必要となる概略検討を行う。

(1) 日野橋の概要

路線名 : 市道車尾日野橋熊党線(旧国道9号)
供用開始年: 昭和4年
河川名 : 一級河川日野川
橋長 : 366.6m
径間長 : 60.0m
前幅員 : 6.75m
有効幅員 : 6.25m
上部工形式 : 6径間曲弦鋼トラス橋
下部工型式 : (橋脚)RC橋台 (橋脚)RCラーメン橋脚

(2) 日野橋の経緯

昭和 4年 架設
昭和38年 建設省調査 塗装補修
昭和42年 国道9号 新日野橋架設
昭和44年 建設省 塗装補修
昭和45年 建設省から米子市へ権利譲渡
昭和47年 1tの重量制限
昭和60年 調査 橋面舗装及び塗装
平成 6年 調査
平成 7年 自動車通行止め(二輪自動車を除く) ※これ以降、現在まで自動車通行止めとなる。
平成 9年 補強(ケーソン)
平成12年 鳥取県西部地震 通行止め
平成13年 調査
平成14年 国土交通省⇒適切に補強することにより自歩道橋として供用可能
平成15年 国の登録有形文化財に登録
橋梁設計業務
補強工事
平成16年 補強修繕工事
平成17年 修繕工事
平成18年 修繕工事
平成19年 通行可能(自動車を除く)
平成22年 国道9号 新日野橋の歩道拡幅 ※両側2.5mへ拡幅
平成28年 日野橋の長寿を祝う会開催
定期点検の実施(健全度Ⅲ)
令和 3年 定期点検の実施(健全度Ⅲ)

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 49"	橋梁ID
				経度	133° 21' 52"	
日野橋 (フリガナ)ヒノハシ	市道車尾日野橋熊党線	(起点)鳥取県米子市車尾六丁目地先 (終点)鳥取県米子市吉岡地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
鳥取県米子市	2021.7.21～7.30	日野川	有	一般道	その他	水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (I～IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主構トラス	III	腐食、ボルトの脱落	写真①②			
	横桁等	III	腐食、ボルトの脱落	写真③④⑤			
	床版	II	鉄筋露出、補修・補強材の損傷	写真⑥⑦⑧			
下部構造		II	ひびわれ、うき	写真⑧⑨			
支承部		II	台座コンクリートの損傷	写真⑩⑪			
その他		II	排水管、地覆、防護柵の損傷	写真⑫⑬⑭			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I～IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
III	上部工の鋼部材全体に防食機能の劣化が見られ、減肉や孔食を伴う著しい腐食も散見される。 耐荷力の低下が懸念されるため、早期の対策が必要である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1929	366.6m	6.75m
橋梁形式		
6径間曲弦ワーレントラス橋		



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

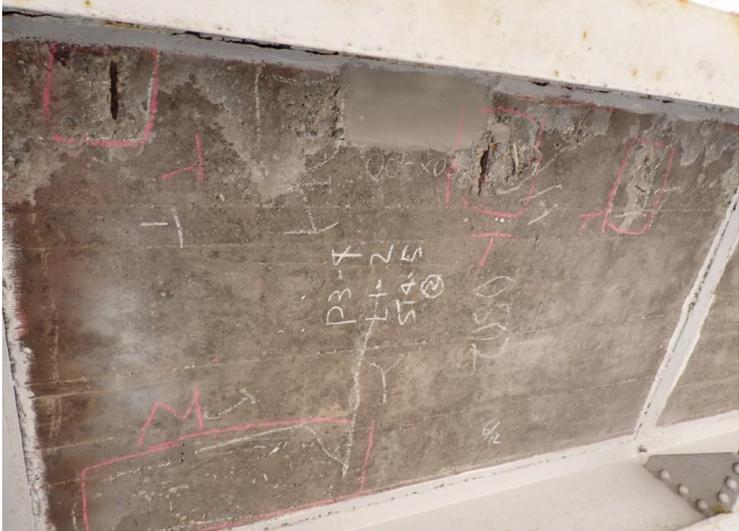
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>①上部構造(斜材)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>1径間 Df0213</p> 	<p>②上部構造(下弦材)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>1径間 Bt0104</p> 
<p>③上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>4径間 Cr01</p> 	<p>④上部構造(縦桁)【判定区分: Ⅲ】</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>⑤上部構造(下横構)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>3径間 L106</p> 	<p>⑥上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>5径間 Ds0504</p> 
<p>⑦上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>4径間 Ds0404</p> 	<p>⑧上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>2径間 Ds0602</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

⑨下部構造(A1橋台)【判定区分: Ⅲ】



⑩下部構造(P4橋脚)【判定区分: Ⅱ】



⑪支承部【判定区分: Ⅱ】

1径間 Be0101



⑫支承部【判定区分: Ⅱ】

5径間 Be0202



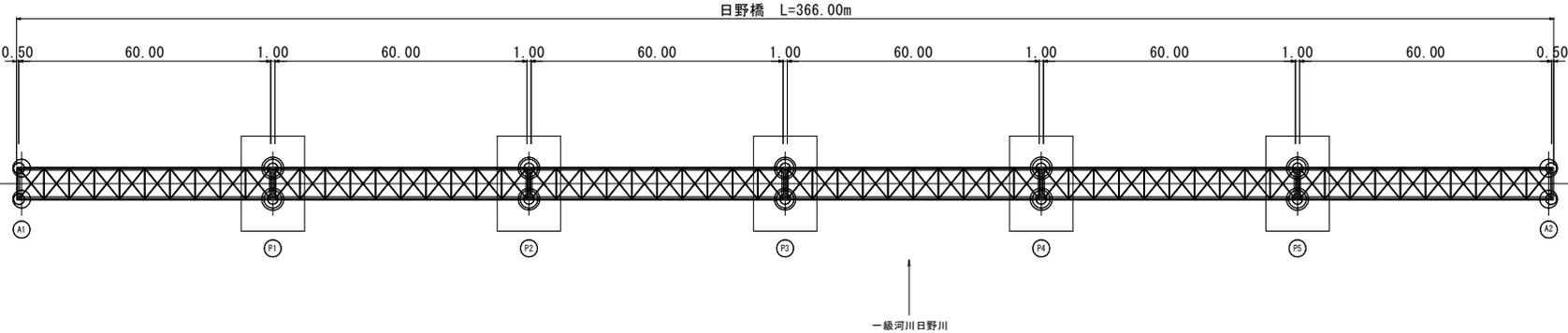
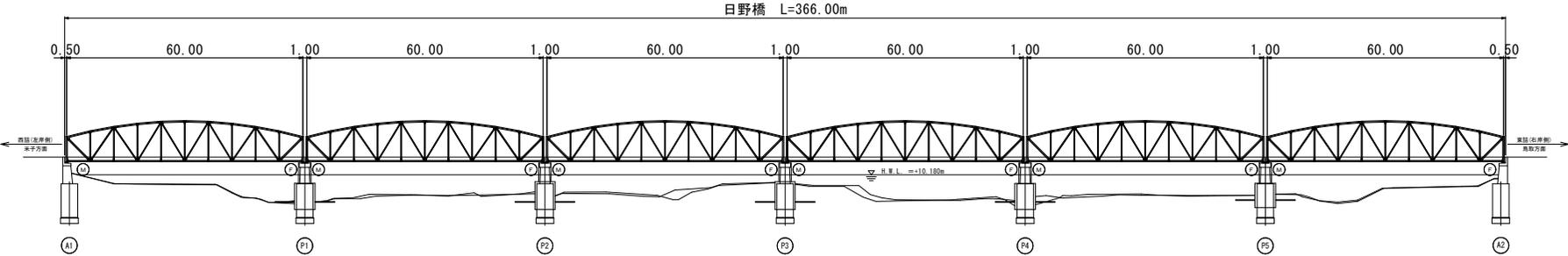
状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">⑬排水管【判定区分: Ⅱ】</p> <p>5径間 Dp0103</p> 	<p style="text-align: center;">⑭地覆【判定区分: Ⅱ】</p> <p>4径間</p> 
<p style="text-align: center;">⑮防護柵【判定区分: Ⅱ】</p> <p>1径間</p> 	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>

側面図 平面図



側面図 平面図

